

令和7年度【2025年度】

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0205
施設名	島根保育園
施設所在地	足立区梅島3-14-18
法人名	社会福祉法人島根福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「自然」 保育中に自然に触れて遊ぶ機会を取り入れる。

<テーマの設定理由>

<p>(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)</p> <ul style="list-style-type: none">・四季を通して、身近に感じる自然を感じるような保育を展開している。・四季に合わせて野菜や花の栽培を行い、野菜の収穫と調理して食べる体験を行っている。・園庭で子ども達が自主的に虫探しを楽しんでいる。・虫への興味を深める為アゲハの幼虫を飼育し観察し羽化したら、園庭に放す体験をする。・砂・土・植物・水・に触れて五感を刺激する遊びを行っている。・園庭のけやきの木にツリーデッキを設置し、自然に関わりながら全身を使って遊ぶ、ごっこ遊びを楽しむことを日常的に体験でき子ども達の成長を更に促していくきっかけとなる。
--

2. 活動スケジュール

<p>①4月昨年秋から育てた蝶が羽化して5羽放す。・通年園庭で砂遊びを楽しんでいる。</p> <p>②5月トマト・ピーマン・オクラ・なす・きゅうりの苗を植える 6月収穫 1月グリーンピース・そら豆の種まき 5月収穫</p> <p>③米の芽だし、稲を植える 10月稲刈り</p> <p>④6月・7月・園庭で水遊び</p> <p>⑤秋 どんぐり拾い・どんぐり転がし・ドングリを使っておままごと</p> <p>⑥3月ツリーデッキ完成・ツリーデッキ完成セレモニー行う</p>

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ① 9月に柑橘類の葉やイタリアンパセリの葉にいたアゲハチョウの幼虫を見つけ飼育し越冬させる蛹をフェルトの生地に固定し観察する。
- ②③ 家庭では、野菜の苗や稲が育つ様子を見る機会が無いため、保護者が送迎で普段から目に入る門の入口付近で栽培する。
- ④ 砂場玩具・ホース等を用意し、水遊びや泥遊びの場に簡易テントを用意。
- ⑤ 乳児クラスの子、個人持ちのどんぐり拾いの入れ物
 - ・木製のどんぐり滑り台を作った。
- ⑥ 園庭けやきの木の周りにツリーデッキを設置の工事を行う
 - 3月完成を祝して「ツリーデッキ完成セレモニー」を行った。
 - ・テープカット・くす玉割・ツリーデッキの遊び方や約束の掲示物

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ① 絵本「はらぺこあおむし」のお話しを読み聞かせたり、自分たちで読んでおり、ストーリーのように蛹が春になると蝶になると教える。
 - ・子ども達が見える廊下に蛹5匹を展示した。蝶に羽化した様子を3月から4月の間観察できた。
- ②③ 4歳児グリーンピース・3歳児そら豆 子ども達がたくさん実ったさやを手で摘みさやを剥きを行いました。全園児が給食で食べた。
 - ・5歳児お米の芽出しを行い育て田植えを行う。
 - ・稲穂に「花が咲いた」を知らせ親子で観察した。稲刈りの体験をした。
- ④ 暑さ指数に十分配慮し水や泥の感触を味わい友達と関わりながらダイナミックに遊びを展開した。
 - 5歳児が夏野菜を収穫し包丁で野菜を切り、カレーの具材にして食べた。
- ⑤ 乳児クラス、公園でどんぐりの木の下に落ちているどんぐりを拾って首からぶら下げた入れ物に集めていた。
 - ・どんぐり滑り台を園庭に置いて、どんぐりが転がる様子や、どんぐりをたくさん集めてあそんでいた。
- ⑥ ツリーデッキ完成セレモニーでは、子ども達がテープカット、くす玉割に参加し完成を全園児参加してお祝した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ①今までの蛹の姿から蝶に羽化した姿を実際に見て学べた。「ちょうちょバイバイ」と皆で手を振って蝶を外に放してあげる体験ができ昆虫についての興味を深めた
- ②③保護者も稲の育つ様子に関心を持ち、親子で稲の観察できたので食育の機会を設けられた。
 - ・グリーンピースは、大量に実り直径30センチのボール1杯分収穫できて驚いて作業していた。
 - ・5歳児自分で育て収穫し調理する体験ができ「自分で作ったカレーは美味しい」と言っていた。
- ④水、泥遊びをお友達と関わって笑顔で伸び伸びと遊ぶことが出来た。
 - ・普段は濡れたり泥で汚れる遊びができないので、夏の暑さに配慮しながら遊ぶ機会を作った。
- ⑤丸や尖ったどんぐりの名前が分かるようにどんぐりの入れ物にどんぐりの名前の表を貼った。
 - ・どんぐりの本を子ども達が目に入る場所に置いて興味が持てるようにした。
 - ・どんぐりの名前を探してどんぐり遊びをお友達と楽しんでいた。
- ⑥ツリーデッキの遊び方の約束を守って(高所の遊具な為)ポール・はしご・クライミングで全身を使って上り下りの運動遊びを楽しんだ。
 - ・けやきの木にすぐ登ることも出来、念願の「木に触れて楽しく遊ぶ」を体験でき子ども達が喜んでいる。
 - ・ツリーデッキの下に入って遊ぶスペースがある。
 - ・乳児クラスの子は、ツリーデッキの下に吹き抜けの窓枠とお店台があり、乳児クラスの子は、木の根元でお家ごっこを楽しんでいる。
 - ・各年齢で遊び方を変え園のシンボルツリーで遊ぶことが出来子ども達も喜んでいる。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ 保育園の活動の中で自然に関わる機会を増やすことがとても重要で、家庭では戸外で遊ぶ時間を設けるのが難しいとされます。
- ・ 保育園では、子ども達が日光を浴びて戸外で元気に自然の下でお友達と楽しく遊ぶ時間を多く取り入れたい。
- ・ 今回すくわくプロジェクトを利用して、園庭のけやきの木にツリーデッキが完成した。
- ・ 職員一同、子ども達が難しいクライミング、ポール、はしご上り下りを目を輝かせて挑戦する姿を見て「外遊びで子ども達の意欲や運動神経を伸ばす遊び」が出来たことを嬉しく思います。
- ・ 保育園のツリーデッキは、子ども、職員が親しみやすく、わくわくする気持ちや挑戦する気持ちになれるよう「ぼうけんのとりで」と命名しました。
- ・ 子ども達には、ルールを守りながら安全に楽しく遊べるように伝えています。
- ・ ツリーデッキで自然に触れて遊ぶ事と、以前から行ってきた自然に関わる保育も継続して行っています。